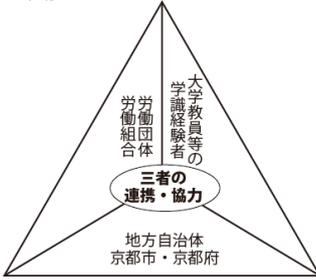


公益社団法人 京都勤労者学園の概要

設立経緯

1957年設立



設立目的

勤労者の能力の向上、
仕事と生活の調和の実現及び
質的向上に寄与すること

法人の活動

勤労者の知識・技能と教養
を高め、その能力と地位の
安定・向上を図る、
社会文化教育に関する事業を行う。

事業の企画・運営の流れ

勤労者の意識調査などを通して
把握された勤労者のニーズを基に
事務局案が作成され、各部会で
検討された後、理事会及び総会の
承認を受け、実施・運営される。

公益目的事業の詳細

公1

人材育成講座・セミナー事業 ⇒ <有料> ①京都労働学校＝京都市からの委託事業で夜間中心
②府市民教室文化教養講座＝京都市との共催で昼間中心

※人材育成講座・セミナー事業の一部は収益事業として実施されている。

<無料> ①公開セミナー
②求職者支援訓練
③他団体の協働・共催や講師斡旋による講座

公2

調査・出版、資料収集、情報提供事業 ⇒ ①勤労者の意識調査
②労働関係資料・図書の収集保存
③勤労者への情報提供

事業の公開・広報

学園のホームページ、京都市の市民しんぶん、市政広報版での広報、京都府・京都市の公共施設での受講案内書の配架を中心に行っている。

